

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2013年6月28日(金) 10:55~12:25
実施場所	南原小学校 ビオトープ
実施対象	5年生2クラス(52名)
実施内容	生きもの採取と観察

1 事前準備

スタッフがあらかじめ、池の方で生きものを採取を行い、観察用の水槽に移した。

2 実施内容

- (1) 本日の作業の説明とエコシティたかつの事について話をした。
 - (2) 水路の中の生きものを各児童、手網を使ってケースへと移した。その後、生きもの分別を行いバケツへと移した。
 - (3) 採取した生きものを理科室に運び水槽に移して、観察解説を行った。観察にはルーペ、顕微鏡を使い行った。その際に5年生が理科の授業で行っていた内容の「メダカはプランクトンを食べるのか?」。これの検証を同時に行った。
 - (4) 質疑応答
- 採取した生きものは授業終了後、池へと戻した。

見つけた生物

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

●ビオトープ

・メダカ ・ドジョウ ・シオカラトンボ(幼虫) ・ショウジョウトンボ(幼虫) ・クロスジギンヤンマ(幼虫) ・ユスリカsp
 ・サカマキガイ ・ボウフラ

●水槽

・アオミドロ ・ボルボックス ・ミドリムシ ・クチビルケイソウ ・ゾウリジムシ ・ワムシ ・ミジンコsp

問題点・気付いた事・その他

- ・ユスリカが発生してしまった後か、ビオトープの中にはほとんどいなかった。
- ・ヤゴは終礼幼虫が多く間もなく羽化するのではないかと思われる。
- ・顕微鏡での観察ではワムシやゾウリムシ、ミジンコなど動物性プランクトンが多く見られた。
- ・メダカの捕食実験ではメダカは目玉が上の方についているため上の方に浮かぶ餌が食べやすいことを説明。水槽内にユスリカとボウフラを入れ観察をした。メダカは、メダカの上部を浮遊したボウフラを捕食したが、水槽の底に沈んだユスリカは捕食しなかった。(底に沈んだため、ユスリカを見つけられなかった考えられる。)
- ・授業終了後チョウのビオトープ近くにアオダイショウを目撃した。



解説風景



手書きの微生物の絵を使った解説



クロスジギンヤンマ



ドジョウ稚魚